



第30号 沼津駅周辺総合整備事業だより

沼津発⇒未来へ



今月の一枚
“霊山寺いちょう”
香貫山登口の霊山寺にある「大いちょう」です。秋は紅葉狩りを楽しむことができます。

沼津の新しいまちづくりが始まっています。「沼津発⇒未来へ」は県と沼津市が共同で進めている鉄道高架事業を含む沼津駅周辺総合整備事業の進捗状況や最新の情報等についてお知らせする広報紙です。電子書籍版はShizuoka-ebooksで。

●新貨物ターミナル周辺整備についてご紹介します（その②）

沼津駅付近にある現在の貨物駅は、鉄道の高架化に伴い、約8km西側の原西部地区へ移転します。地元のみなさんの要望を踏まえながら、新貨物ターミナル周辺では、道路や水路、公園等の整備を進めていきます。今回は第20号で紹介した周辺道路に引き続き、緑地・調整池の紹介です。

新貨物ターミナル周辺整備イメージ



コンテナホームと富士山



貨物駅南側からの眺望



緑地の整備イメージ

※写真は全てイメージです

緑地・調整池整備

新貨物ターミナル周辺では、周辺住民の方々が憩いの場として利用できる緑地や洪水を防止する機能を持つ調整池の整備などを予定しています。

地元のみなさまの意見を伺うために、緑地・調整池のワークショップを開催し、今後の計画に反映させていく予定です。

新貨物ターミナルの用地取得率 “83%”

新貨物ターミナル建設に必要な用地の取得率は83%（面積ベース）です。これまでに地権者170名のうち、137名の方にご協力をいただきました。

今後も県と市で連携し、誠意をもって対話を続け、事業への協力をお願いしていきます。

また、用地取得の目途が立ち次第、直ちに工事着手できるよう準備を進めています。



裏面もご覧ください

● 沼津市の長期財政に関する試算を公表

今後30年間という全国的にも稀な長期財政に関する試算を沼津市が公表しました。鉄道高架事業などの大型3事業を見込む中で、国の財政健全化基準をクリアしています。



【概要】長期財政に関する試算

- ①30年間という長期にわたる試算
- ②人口減少の影響を見込む
- ③税制改正や地方財政対策を見込む
- ④大型事業を個別に見込む
- ⑤公共施設の老朽化対策費を見込む
- ⑥扶助費は、毎年1.62%の伸びを見込む

※ 詳しく知りたい方は、沼津市HPをご覧ください。

沼津市 財政試算

検索

● 「世界一元気な沼津」まちづくりリーフレットを発行

「世界一元気な沼津」の実現に向けて、まちづくりの主役である市民の皆さんに対して積極的に情報公開することにより、市政に対するご理解をいただきながら、わくわくするような元気なまちづくりを進めています。その一環として、市政の基本的な考え方や主要施策、まちの将来のイメージをリーフレットとしてまとめ、3回に分けてお知らせすることになりました。

※ 今後も広報めまづと一緒に配布するほか、地区センターなどでも配架します。

第1回 沼津駅高架化のおはなし

住む人も、来る人も安心・便利！

「高架化すると、どんなことがよくなるんだろう？」

沼津のまちの魅力が上がり、人々の往来も自由になります。
駅前の通りにはみんなが集い、新たなにぎわいが生まれます。
車椅子やベビーカーの人でもまちを楽しく移動できます。
そして、多くの人に出会うきっかけとなって、楽しい未来へとつながります。

◎新しい街並みが誕生！

鉄道跡地には大きな土地が生まれ、もっと楽しくにぎわいのある街並みが誕生します。

◎南北の交通が劇的に変化！

駅前には南北を繋ぐ道路だけでなく、新しい道路もでき、人も車も安全に通れます。

◎緊急時も迅速に！

今まで渋滞で到着が遅くなっていた消防車・救急車も、より早く到着します。さらに安全・安心なまちへと変化します。

◎適切な事故・渋滞・遊戯！

中心市街地にある13の箇所でなくなり、事故・渋滞が激減！より安全で暮らしやすいまちになります。

費用は、どうなっているの？ 市は負担できるの？

全体事業費と沼津市の負担額

全体事業費 1996億円に対し、私たち沼津市の負担分は714億円（残りは国・県が負担）

昨年年度（平成28年度）までに全体の約1/3が終わっているんだね。

売分（平成29年度）715億円

平成29年度以降の沼津市の事業費負担分は406億円なんだ。

平成29年度以降の沼津市の負担分は406億円なんだ。

国・県等負担分 975億円

1億円 406億円

市負担分 406億円 + 市費活用の利子 40億円 - 国の交付税措置 92億円 = 364億円

今後40年間で費用を負担1年あたりの平均実質負担額 9.1億円

沼津市 平成29年度予算の一般財源 約455億円

平成29年度予算の一般財源の約2%

● 「静岡東部拠点第二地区土地地区画整理事業まちづくり協議会」を設置

沼津市は、沼津駅周辺の土地地区画整理事業に関連して、現車両基地周辺の「静岡東部拠点第二地区」のまちづくり協議会を設置し、9月7日（木）に初会合を開きました。

この協議会は、地権者と民間コンサルタント、アドバイザーなどで構成されています。

今後、将来のまちのイメージなどを共有しながら、良好な住環境の創出を実現するために必要なルールとなる「地区計画」の素案を今年度中に策定する予定となっています。



第1回まちづくり協議会の様子

静岡県沼津土木事務所 都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号
TEL: 055-920-2222・FAX: 055-926-5527
E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp
URL: http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/



沼津市沼津駅周辺整備部推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号
TEL: 055-934-4768・FAX: 055-934-2310
E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp
URL: http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm